

分析・活用等ワーキンググループについて

令和7年5月9日
全国的な学力調査に関する専門家会議決定

1. 趣旨

「全国的な学力調査に関する専門家会議」（以下「専門家会議」という。）における、調査結果の更なる専門的な分析、調査結果の分析・活用の推進のための方策等の検討を行うため、専門家会議の下に、「分析・活用等ワーキンググループ」（以下「ワーキンググループ」という。）を設置する。

2. 検討事項

- （1）調査結果の分析（特に専門的な知見を活用した高度な分析）に関すること
- （2）調査結果の分析・活用の推進のための方策に関すること
- （3）その他関連する事項

3. 構成員

宇佐美 慧	東京大学大学院教育学研究科准教授
大津 起夫	独立行政法人大学入試センター参与・名誉教授
奥村 太一	国立大学法人滋賀大学データサイエンス学部准教授
川口 俊明	福岡教育大学教育学部准教授
斉田 智里	横浜国立大学教育学部教授
田村 知子	大阪教育大学連合教職実践研究科教授
垂見 裕子	武蔵大学社会学部教授
土屋 隆裕	横浜市立大学データサイエンス学部教授
寺尾 尚大	独立行政法人大学入試センター研究開発部准教授
富士原 紀絵	お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系教授
益川 弘如	青山学院大学教育人間科学部教授

4. 実施期間

ワーキンググループは、上記2.に係る検討が終了したときに廃止する。

5. その他

このワーキンググループに関する庶務は、総合教育政策局参事官（調査企画担当）付において行う。